

小田急電鉄70000形「GSE」のバリアフリー設備のご案内 (2020年3月14日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

70000形「GSE」は、老朽化した70000形「LSE」の取替用として2018年3月17日(土曜日)のダイヤ改正から営業運転を開始した車両です。改良型ハンドル形電動車いす(シニアカー)に対応したとみられる設備や、私鉄の有料特急では珍しい多目的室などを備えているのが特徴です。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と標記)

車いすスペース(次ページの配置図で「h」と標記)

4号車の1番A席・2番D席が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

また1番CD席に相当する場所に腰掛1脚(2席分)を撤去した広さの車いすスペースがあります。

更に2番AB席・3番CD席が介助・同伴者用の席として、車いす対応座席と共に一般席とは別枠で管理されています。

(AB席は相模湾側、CD席は丹沢山地側)

ただしこれらの席は、一般席が満席近くなると健常者にも発売されることがあります。

多目的室

4号車の小田原寄りに車いす対応でないものが設置されています。

トイレ(次ページの配置図で「O」と標記)

4号車の小田原寄りにベビーベッド(おむつ交換台)とオストメイト用設備を併設した多機能トイレがあります。

洗面所

4号車の小田原寄りに車いす対応構造のものが設置されています。

公衆電話

新製当初から設置されていません。

飲料自動販売機(次ページの配置図で「v」と標記)

4号車の小田原寄りに車いす対応構造でないものが設置されています。

受動喫煙の発生状況

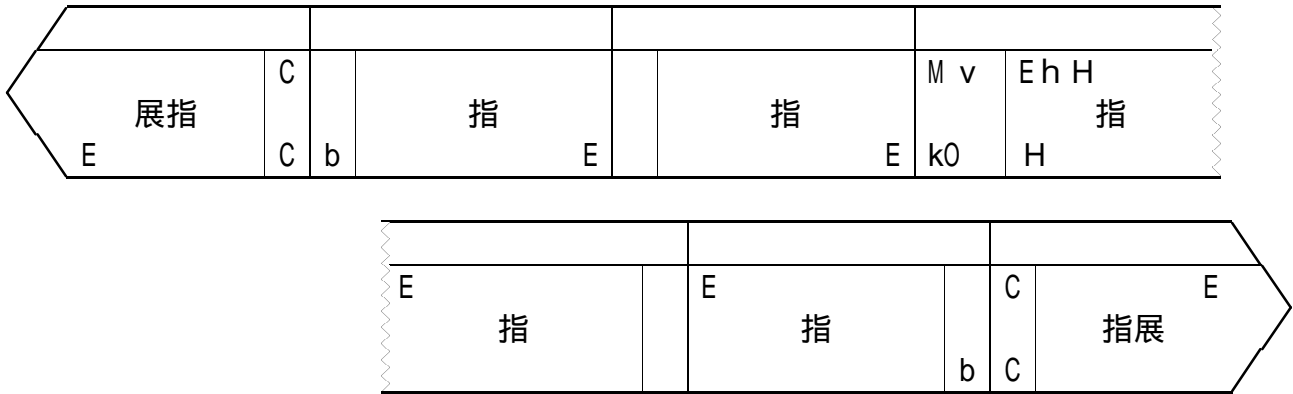
2018年3月17日の運転開始当初から全車禁煙です。

乗車・調査の実施記録

2020年9月1日(火曜日)新宿15時40分発箱根湯本ゆき「はこね31号」
車両番号・4号車=サハ70151(2017年・日本車両製)

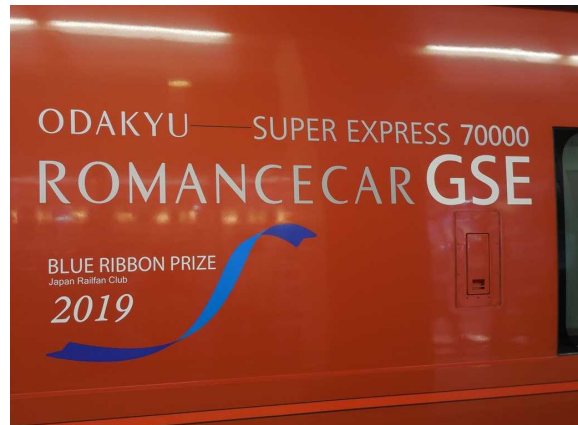
小田急電鉄70000形「GSE」の車内設備の配置図

箱根湯本 (はこね) 新宿
 小田原 (さがみ) 新宿
 藤沢 (えのしま) 片瀬江ノ島・新宿
 「えのしま」は藤沢で進行方向が変わります。



凡例

- 指 = 普通車指定席
 - H = 車いす対応座席
 - O = 車いす・オストメイト対応トイレ (ベビーベッド有)
 - b = 車いす非対応トイレ (ベビーベッド・ベビーチェア有)
 - M = 多目的室
 - 展 = 展望席
 - h = 車いすスペース
 - v = 飲料自動販売機 (車いす非対応)
 - = A E D (自動体外式除細動器)
 - E = インターホン機能付緊急通報装置
 - k = 車内販売準備室
 - C = 車掌室
- 細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車



小田急電鉄70000形「GSE」



小田急電鉄70000形「GSE」の
4号車1番A席



小田急電鉄70000形「GSE」の
4号車1番A席の車いす固定ベルト
窓枠の下に非常通報ボタンが見える



小田急電鉄70000形「GSE」の
4号車2番D席と車いすスペース



左の写真で車いすスペースの角の壁にある
インターホン式緊急通報装置



小田急電鉄70000形「GSE」の
多機能トイレ



小田急電鉄70000形「GSE」の
多機能トイレ内のオストメイト対応設備



小田急電鉄70000形「GSE」の
AED(自動体外式除細動器)
上の写真で画面の左下に位置している



小田急電鉄70000形「GSE」の
車いす対応洗面所



小田急電鉄70000形「GSE」の
飲料自動販売機
ICカード対応でも車いす対応ではない
右は洗面所、左奥は多目的室



小田急電鉄70000形「GSE」の
多目的室
案内掲示が何もない